


質問者	質問・意見	回答	頁番号
○効果算定マニュアルについて			
大貝先生	温室効果ガスの算定は40年間だが、40年間とする根拠は。	○国指針により、土地改良事業は耐用年数の異なるものを一体的に整備することから、施設の平均的な耐用年数を踏まえ、当該事業の工事期間+40年を評価対象期間とされている。	P3
○市町村財政状況と道営事業・実施地区数（R1～R3）			
山本先生	財政力指数のグループ分けによらず、市町村実負担平均は同じくらいになるのではないか。	○地帯別市町村数によるグループ分けの結果の割合が均等ではないため、同程度とはならない。	P4～P5
小糸先生	財政力指数が低い市町村の農家は、合意形成に影響があるのではないか。	○財政力指数の多寡による合意形成への影響は、資料から読み取れず、影響度合については不明。	-
○北海道財政力指数、国・道内総生産と予算の関連性			
山本先生	国はGDP1%に対して、農業関連予算を2%とっているが、道は？	○道は、名目GDP3.97%（R2）に対して、道歳出予算全体の9.57%を予算化。	P6～P7
○1haあたり標準単価（水田・畑地）、費用負担の試算（H28～R2） 地区別			
山本先生	・受益戸数から1戸あたりの平均負担を知りたい ・水田は1戸あたりの収入は変わらないので1haあたりの数字を算出してみてもは。	○第1回懇談会時の試算結果を用いて算出。 ○標準単価を用いて算出。	P8～P11
○道営農業農村整備事業実施区域図（R1～R3）			
武者先生	地理的な問題もあると思うので地図で示して欲しい	○実施地区数別、財政力指数別に地図を作成。	P12～P13

A photograph of a rice field with green stalks and golden-brown panicles against a clear blue sky.

農業農村整備事業に係る 負担のあり方有識者懇談会 (第2回)

令和5年(2023年)10月13日(金) 13:00~
北海道農政部農村振興局

目 次

- 効果算定マニュアルについて ----- P 3
- 市町村財政状況と道営事業…実施地区数(R1～R3) ----- P 4
- 北海道財政力指数、国・道内総生産と予算の関連性 ----- P 6
- 1haあたり標準単価、費用負担の試算(H28～R2)_地区別 ----- P 8
- 道営農業農村整備事業実施区域図(R1～R3) ----- P 1 2

効果算定マニュアルについて

土地改良事業の費用対効果分析に関する基本指針 より抜粋

平成20年10月1日改正 農林水産省農村振興局

(5) 評価対象期間

土地改良事業は、農業用ダム、頭首工、農業用排水路、農業用排水機場など耐用年数の異なるものを一体的に整備するものであることから、**施設の平均的な耐用年数を踏まえ、当該事業の工事期間+40年を評価対象期間として設定する。**

施設区分	構造物区分	標準耐用年数	
貯水池	ダム、ため池	80年	
頭首工	コンクリート	50	
	石積	40	
水門 (樋体暗渠を含む)	鋼	30	
水	用排水路	鉄筋コンクリート、コンクリートブロック	40
		コンクリート二次製品、管路、矢板	20~40
		純石積	30
		空石積	20
		土水路	10~20
路	隧道	巻立	50
		素掘	40
水路橋	鉄筋コンクリート、鉄骨	鉄筋コンクリート	50
		鉄骨	50
		鉄筋コンクリート	50
サイフォン	鉄筋コンクリート、管路	50	
建物	鉄筋コンクリート 鉄骨 木造	鉄筋コンクリート	45
		鉄骨	35
		木造	20
用排水機	ポンプ及び原動機を一括	20	
水管施設	管理制御機械装置及び通信施設を一括	10	
干拓	堤防 開門 排水門	堤防	100
		開門	50
		排水門	30
地利 下水用	集水暗渠	ヒューム管、コンクリート管、石積	15
	井戸	巻立、管	30

施設区分	構造物区分	標準耐用年数	
農路	面	コンクリート敷	15
		アスファルト敷	10
		砂利敷	15
道橋	路盤、路床	鉄筋コンクリート	60
		鉄骨	45
区画整理	整地工のみ 整地工、小用排水路、耕作道等一括	整地工のみ	100
		整地工、小用排水路、耕作道等一括	30~40
暗渠排水	完全暗渠 簡易暗渠	完全暗渠	15~30
		簡易暗渠	10~15
客土	泥炭地における客土 その他	泥炭地における客土	15~30
		その他	30~50
かんがい排水事業 (施設区分が明瞭でない関連事業の場合のみ使用)	ため池施設を含むもの 機械施設を含むもの ため池、機械施設を含まないもの又は 明らかでないもの	ため池施設を含むもの	55
		機械施設を含むもの	25
		ため池、機械施設を含まないもの又は 明らかでないもの	20~30
索道	機械施設を含む	10~15	
スプリンクラー		5~10	
発電施設	水車及び発電機を一括	20	
鳥獣侵入防止柵	金属造、主として木造	15	
開畑・開田		100	
防風林		100	
施設用地	買収用地	100	

農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課
令和5年4月

「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数」
から引用

市町村財政状況と道営事業・実施地区数(R1～R3)

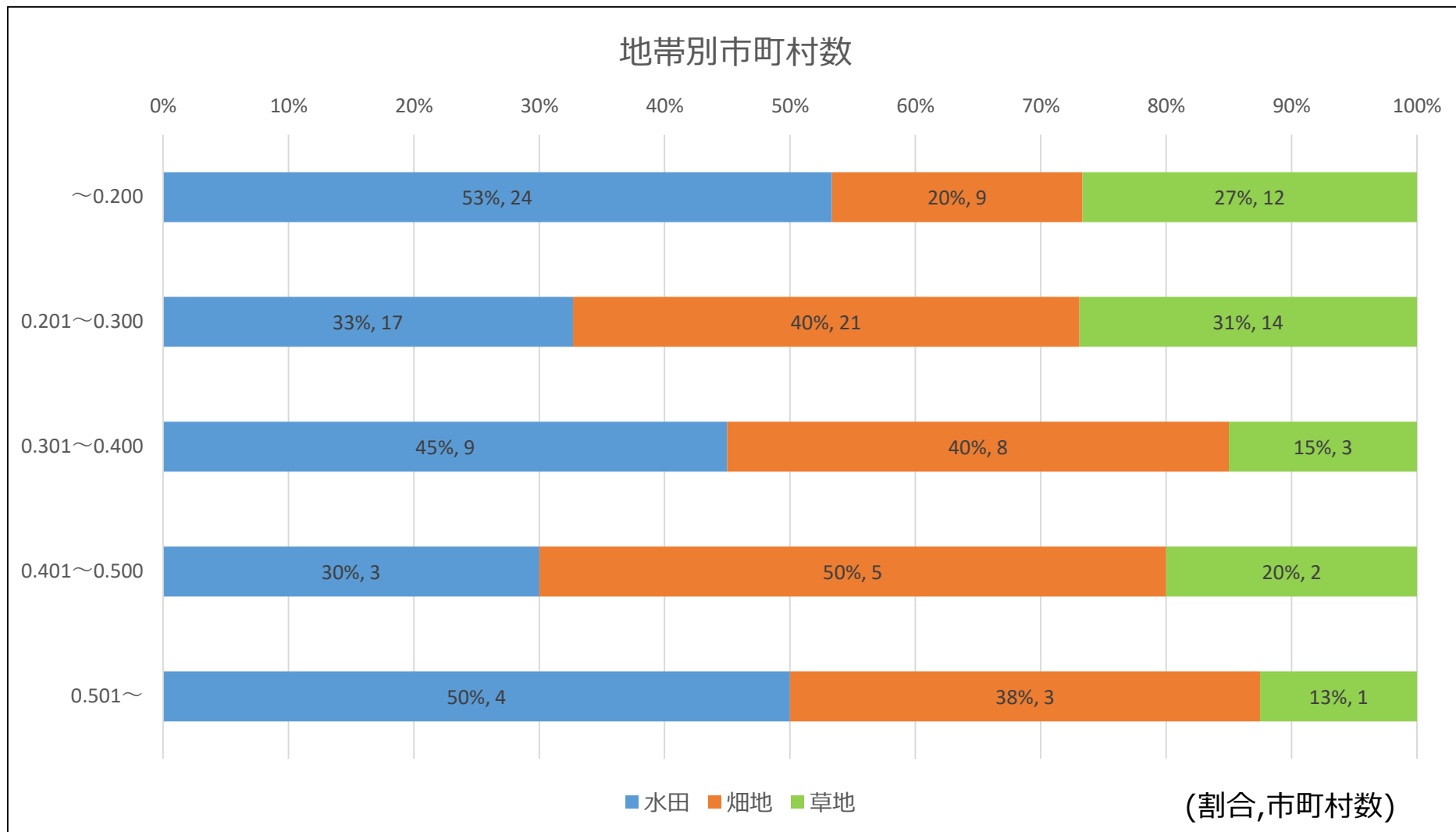
単位：百万円、地区

財政力指数	市町村数	総事業費	総事業費 平均	市町村 実負担	市町村 実負担平均	総地区数	地区数平均
～0.200	45	48,121	1,069	2,663	59	123	2.7
0.201～0.300	52	108,076	2,078	6,695	129	224	4.3
0.301～0.400	20	61,370	3,069	3,016	151	127	6.4
0.401～0.500	10	28,859	2,886	3,236	324	64	6.4
0.501～	8	16,630	2,079	1,082	135	32	4.0
合計	135	263,056	1,949	16,692	124	570	4.2
道営事業実施なし	44	0	0	0	0	0	0

※財政力指数はR1～R3の平均値

総事業費、市町村実負担、総地区数（実数）はR1～R3に実施した道営農業農村整備事業の合計値

市町村財政状況と道営事業・実施地区数(R1~R3)



北海道財政力指数

グループ	財政力指数 (令和元年度～令和3年度)	所属団体	団体数
A	1.000 以上	該当なし	—
B	B1 0.700 以上～1.000 未満	愛知県、神奈川県、大阪府、千葉県、埼玉県	5
	B2 0.500 以上～0.700 未満	静岡県、茨城県、福岡県、兵庫県、栃木県、群馬県、宮城県、広島県、三重県、京都府、滋賀県、岐阜県、福島県、岡山県、長野県	15
C	0.400 以上～0.500 未満	石川県、富山県、香川県、新潟県、 北海道 、山口県、愛媛県、奈良県、福井県、熊本県	10
D	0.300 以上～0.400 未満	山梨県、大分県、山形県、沖縄県、岩手県、佐賀県、青森県、宮崎県、鹿児島県、長崎県、和歌山県、徳島県、秋田県	13
E	0.300 未満	鳥取県、高知県、島根県	3
F	1.07301	東京都	1

北海道財政力指数
0.446(R1～R3平均)

総務省HP 令和3年度都道府県財政指数表から引用

国・道内総生産と予算

道内総生産(R2 生産側)

○名目

19,725,624百万円

うち農林水産業 781,429百万円(3.97%)

○実質

19,052,384百万円

うち農林水産業 655,476百万円(3.44%)

北海道経済部HP 令和2年度道民経済計算統計表より出典

北海道歳出予算現額 (R2)

3,915,281百万円

うち農政費+水産林務費374,355百万円

(9.57%)

※農政費 265,698百万円(6.79%)

※水産林務費 108,657百万円(2.78%)

北海道総務部HP 令和2年度一般会計歳入歳出決算より出典

国内総生産(R2 生産側)

○名目

538,155.4十億円

うち農林水産業5,619.8十億円(1.05%)

○実質

528,178.9十億円

うち農林水産業4,688.7十億円(0.89%)

内閣府HP 2020年度国民経済計算経済活動別国内総生産より出典

国歳出予算現額 (R2)

182,265,832百万円

うち農林水産省 4,650,681百万円(2.55%)

財務省HP 令和2年度一般会計歳入歳出決算決算より出典

	国内総生産(名目)	歳出予算現額
北海道	3.97%	9.57%
国	1.05%	2.55%

歳出予算現額
歳出予算額(当初+補正)+前年度繰越額

1haあたり標準単価（水田）

事業名：経営体(55%)

・負担率

(農家負担工種) 国 55% 道 32.5% 市町村 0% 農家 12.5%

(市町村負担工種) 国 55% 道 32.5% 市町村 12.5% 農家 0%

・G L 国 55% 道 32.5% 市町村 10% 農家 2.5%

(千円/ha)

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
標準単価※2	3,750	2,950	2,350	-

○農家負担

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
本来負担	468.8	368.8	293.8	12.5%



PUによる負担軽減

現行負担	281.3	221.3	176.3	7.5%
------	-------	-------	-------	------

現行負担 - 本来負担	▲ 187.5	▲ 147.5	▲ 117.5
-------------	---------	---------	---------

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
(参考)GL適用	93.8	73.8	58.8	2.5%

GL - 現行負担	▲ 187.5	▲ 147.5	▲ 117.5
-----------	---------	---------	---------

○市町村負担

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
本来負担	0.0	0.0	0.0	0.0%



PUによる負担軽減

現行負担	93.8	73.8	58.8	2.5%
------	------	------	------	------

現行負担 - 本来負担	93.8	73.8	58.8
-------------	------	------	------

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
(参考)GL適用	375.0	295.0	235.0	10.0%

GL - 現行負担	281.2	221.2	176.2
-----------	-------	-------	-------

※1 区画整理を伴う暗渠排水・客土

※2 ほ場条件等により変動

1haあたり標準単価（畑地）

事業名：畑総(育成型：55%)

・負担率

(農家負担工種) 国 55% 道 28% 市町村 0% 農家 17%

(市町村負担工種) 国 55% 道 28% 市町村 17% 農家 0%

・G L 国 55% 道 28% 市町村 8% 農家 9%

(千円/ha)

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
標準単価※2	3,990	3,050	4,160	-

○農家負担

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
本来負担	678.3	518.5	707.2	17.0%



PUによる負担軽減

現行負担	299.3	228.8	312.0	7.5%
------	-------	-------	-------	------

現行負担－本来負担	▲ 379.0	▲ 289.7	▲ 395.2	
-----------	---------	---------	---------	--

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
(参考)G L適用	359.1	274.5	374.4	9.0%

GL－現行負担	59.8	45.7	62.4	
---------	------	------	------	--

○市町村負担

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
本来負担	0.0	0.0	0.0	0.0%



PUによる負担軽減

現行負担	189.5	144.9	197.6	4.75%
------	-------	-------	-------	-------

現行負担－本来負担	189.5	144.9	197.6	
-----------	-------	-------	-------	--

区分	整地	暗渠排水※1	客土※1	負担割合
(参考)G L適用	319.2	244.0	332.8	8.0%

GL－現行負担	129.7	99.1	135.2	
---------	-------	------	-------	--

※1 区画整理を伴う暗渠排水・客土

※2 ほ場条件等により変動

費用負担の試算（H28～R2） 地区別

- **A** 地区 事業名：経営体(5.5%)
- ・総事業費 3,063,462千円 ・受益戸数 28戸(R2) ・事業面積 178ha (受益面積 197.8ha)
- ・工期 H24～R4 試算期間 H28～R2
- ・負担率

(農家負担工種) 国 5.5% 道 32.5% 市町村 0% 農家 12.5%

(市町村負担工種) 国 5.5% 道 32.5% 市町村 12.5% 農家 0%

・G L 国 5.5% 道 32.5% 市町村 10% 農家 2.5%

単位：千円

	国	道	市町村	農家	計
本来負担	1,684,904	995,625	61,493	321,440	3,063,462



現行負担	1,684,904	1,024,229	90,096	264,234	3,063,462
------	-----------	-----------	--------	---------	-----------

現行負担－本来負担	+28,603	+28,603	▲ 57,206
-----------	---------	---------	----------

	農家負担工種		市町村負担工種
	区画整理(整地・暗渠排水・用水路)	用水新設	排水路
事業量 (ha,m)	178ha	1 (箇所)	12,798m
事業費 (千円)	2,087,429	9,999	966,034

◎ PUにより本来負担から5カ年で▲2,043千円/戸
▲ 321千円/ha

	国	道	市町村	農家	計
(参考) GL適用	1,684,904	995,625	306,346	76,587	3,063,462

GL－現行負担	▲ 28,603	+216,250	▲ 187,647
---------	----------	----------	-----------

◎ GL適用により現行負担から5カ年で▲6,702千円/戸
▲1,054千円/ha

費用負担の試算 (H28~R2) 地区別

■ **B** 地区 事業名：畑総(育成型：55%)

・総事業費 2,813,264千円 ・受益戸数 26戸(R2) ・事業面積 64.3ha (受益面積 364.6ha)

・工期 H26~R5 試算期間 H28~R2

・負担率

(農家負担工種) 国 55% 道 28% 市町村 0% 農家 17%

(市町村負担工種) 国 55% 道 28% 市町村 17% 農家 0%

・G L 国 55% 道 28% 市町村 8% 農家 9%

単位：千円

	国	道	市町村	農家	計
本来負担	1,547,295	787,714	457,568	20,687	2,813,264



現行負担	1,547,295	790,588	460,442	14,939	2,813,264
------	-----------	---------	---------	--------	-----------

現行負担 - 本来負担	+2,874	+2,874	▲ 5,748
-------------	--------	--------	---------

	農家負担工種		市町村負担工種		
	区画整理(整地・暗渠排水)	単独暗渠	排水路	農道	営農用水
事業量 (ha,m)	18ha	46.3ha	115m	測定等	24,020m
事業費 (千円)	47,147	74,542	48,981	9,325	2,633,270

◎PUにより本来負担から5カ年で▲221千円/戸
▲ 89千円/ha

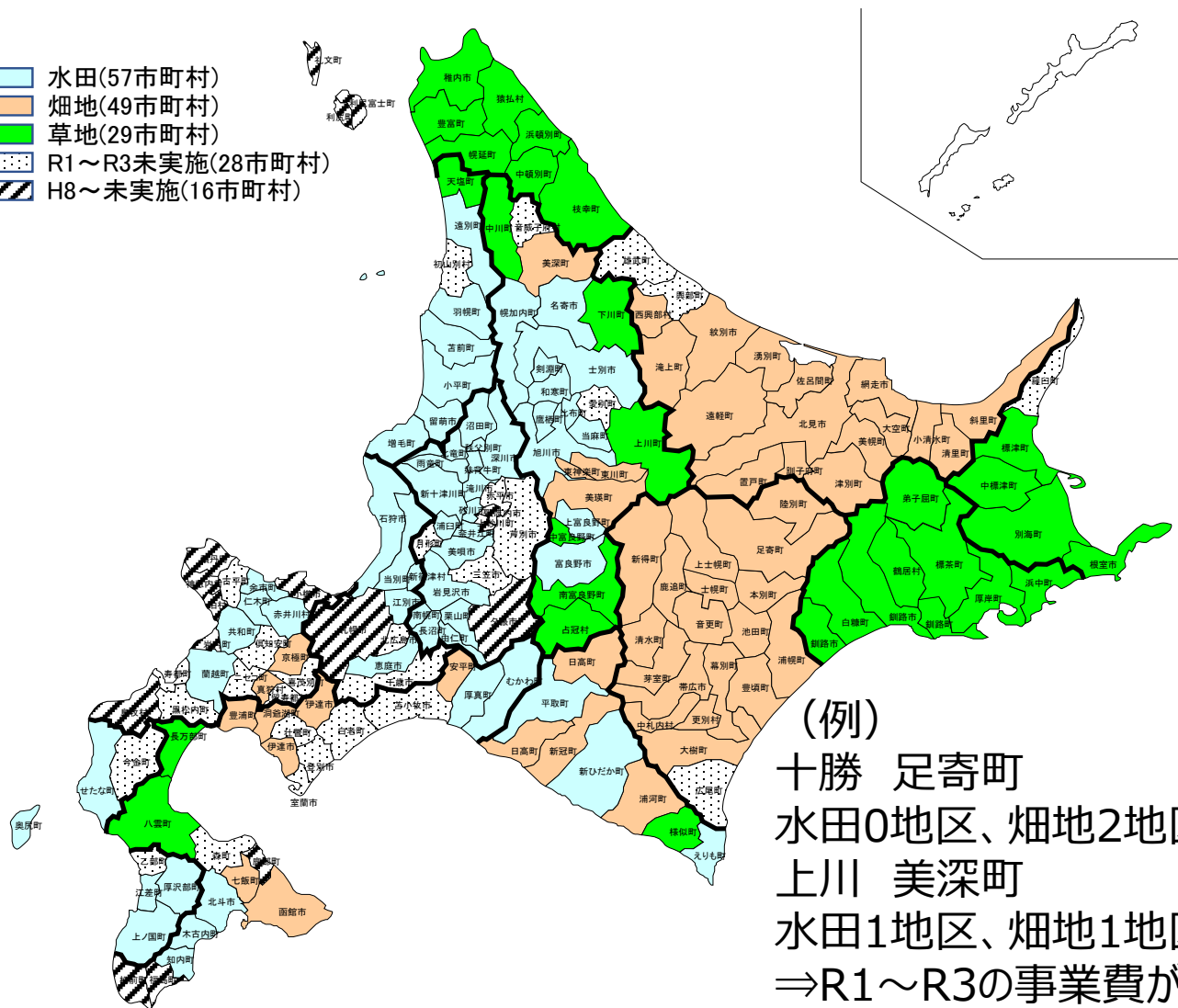
	国	道	市町村	農家	計
(参考) GL適用	1,547,295	787,714	225,061	253,194	2,813,264

GL - 現行負担	▲ 2,874	▲ 235,381	+238,255
-----------	---------	-----------	----------

◎GL適用により現行負担から5カ年で9,164千円/戸
3,705千円/ha

R1～R3道営農業農村整備事業(実施地区数別)

- 水田(57市町村)
- 畑地(49市町村)
- 草地(29市町村)
- R1～R3未実施(28市町村)
- H8～未実施(16市町村)



- ・同一市町村内で複数の事業を実施していた場合、地区数の一番多い事業を計上
- ・同一市町村内で地帯別の地区数が同数の場合は、事業費の多い地帯で計上

(例)
 十勝 足寄町
 水田0地区、畑地2地区、草地1地区⇒畑地計上
 上川 美深町
 水田1地区、畑地1地区、草地0地区
 ⇒R1～R3の事業費が畑地の方が多いため、畑地計上

